

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ライシャワー学園きこえサポートセンター		
○保護者評価実施期間	2025年12月2日 ～ 2025年12月12日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28	(回答者数) 9
○従業者評価実施期間	2025年12月2日 ～ 2025年12月12日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どものことを理解し、保護者の気持ちに寄り添った支援が行われている。	本校の教育理念である「聴覚主導の人間教育」を基盤に、親子の状況を共有し、すべてのスタッフが同じ思いで子どもたちに向き合っている。	就労家庭においても専門的な療育や保護者支援を十分に受けられるような取り組みを充実させる。
2	専門的な支援が充実している。	・オーディオロジィ部を含めたチームでのサポート体制。 ・週1回の個別支援および週3～4回のグループ支援を実施。	診療所を開設することにより、教育・福祉・医療が一つとなって、子どもたちを支えていく。
3	保護者は同じ悩みを抱える親同士、もしくは子育ての先輩や成長したお兄さんお姉さんとの交流が持てる環境がある。	保護者が幼稚部、小学部、中学部の子どもや保護者、そして卒業生に話を聴く機会を定期的に設けている。	丁寧な子育てやかかわりを通して成長している子どもたちの姿に、より多く触れてもらい、子育てに安心と希望が持てるようにしていきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	施設の暑さや寒さ対策。	各部屋のみでなく、廊下も夏は暑く冬は寒い状況が見られる。	昨年、廊下に冷暖房を完備したことにより、部屋以外の場所でも過ごしやすくなった。
2	活動の様子などの情報発信。	個人情報の観点から、写真や動画などの活用には課題もある。	施設事務所裏に掲示板を設置して、定期的に校内での活動の様子を発信するようにしている。
3	交通の便が良くない。	立地的に駅から離れている。	多摩センター駅と町田駅から送迎バスを支援プログラムの時間に合わせて運行している。